

NPO 法人「飛んでけ！車いす」の会
2016（平成 28）年度 事業報告書

（海外事業）

1）車いす輸送事業

① 海外へ送り届けた車いす

本年度は 124 台の車いすを届けました。57 件のコーディネートを行い、個人旅行の方も、団体旅行の方も、幅広い年代の旅行者の方に車いすを運んでいただきました。北海道札幌清田高校や北星学園女子高校、JICA「世界の笑顔のために」プログラムでも多くの車いすを届けました。活動を開始した 1998 年から 2017 年 3 月末までに、79 カ国へ 2692 台の車いすを届けました。台湾が新しい届け先になりました。

② 提供された車いす

本年度は、個人・福祉施設・病院から 138 台を提供していただきました。リピーターの方や団体も多く、いただいた車いすはサイズや用途が合うものから、海外へ運ばれています。

③ 車いす整備

整備ボラは毎週火曜日に定例の整備活動を行いました。また、NEC 関係者や個人の皆さんも第 4 土曜日に活動を行いました。札幌清田高校・北星学園女子高校の生徒が自分たちで車いすを整備してカンボジアに運びました。

④ ネパールプロジェクト

「地震後に 50 台の車いすを送ろう」という目標を掲げ、3 月末までに累計 35 台の車いすが届きました。2016 年 4 月には「ネパール報告会」を開催し、約 80 名の方が参加してくださいました。ネパール寄付金は終了しましたが、JICA ネパール OB 会の協力もあり、今後もネパールに車いすを届ける活動は続けます。

⑤ ネパールスタディツアー

2015 年 4 月の大地震後の秋から実施した「ネパールプロジェクト」の集大成として、3 月末に 5 泊 7 日のスタディツアーを行いました。参加者 10 名が 4 台の車いすを届け、病院や施設の訪問、現地での交流をしてきました。

2）車いす海外整備事業

JICA 基金を使って、「車いす修理・整備講座 in バリ」事業を行いました。整備者 3 名とコーディネータ 1 名が 1/11-1/22 に渡航して、2 団体からの障がい者や家族を対象にして、3 日間の講座を開催しました。その前後には、バリの工具調査や、団体、個人宅訪問なども行いました。この先も整備講座を続けていきたいという声を受講者と講師からも上がっています。JICA 基金は渡航費が出ないため、クラウドファンディングの Readyfor を使って資金集めも行いました。

(国内事業)

A. 広報活動

① 会報誌「とべとべ」を年3回(68-70号)制作・発行しました。また、車いす整備と海外運搬ボランティアの募集ポスターと「飛んでけ」の活動パンフレットを作成し、活用しています。そのほか、ホームページやブログ、Facebookから情報発信し、Readyforを活用して募金集めをしました。

② 講演活動と報道

「飛んでけ」の講演活動では活動の紹介のみならず、海外の福祉事情や障がい者の生活を伝えるなど、幅広い視点でおこなっています。本年度は、北星学園短期大学部英文学科・北星学園高校、北大(JICA 主宰事業)、「おもむきの人プロジェクト」(清田区民センター、厚別区民センター)で講演する機会がありました。北海道新聞に2回掲載、札幌まちづくり活動情報ポータルでも取材を受け報道されています。

③ 飛んでけ!夏祭り

地域で「飛んでけ」の活動を知ってもらうために「飛んでけ!夏祭り」を8月28日(日)に行いました。野菜の直売やフリマ、綿あめやポップコーンの販売などに加え、事務所内では「飛んでけ」の歴史を知る写真展やエスニックカフェなどの催しが行われ、地域の方も含めて、約200名が参加しました。

④ カレンダープロジェクト

多くの企業・団体や会員の皆様のご協力のもと、12月28日(水)に地下歩行空間にて、リサイクル販売会を行いました。本事業は恒例となりつつあり、多くの市民の方にカレンダーを購入していただきました。

B. その他事業

① 2016年度参加イベント

北海道NGOネットワーク協議会主催の国際協力フェスタ2016に参加しました。ブースでの活動紹介、民族衣装ファッションショー、世界各国のお土産品の販売等を行いました。

② 黄色いレシートキャンペーン

毎月11日の黄色いレシートキャンペーンに参加。イオン桑園店店頭にて声掛けを行いました。2016年分として2017年4月に108000円分を商品券としていただきました。

③ 車いす国内レンタル拡充および旅行者負担金の見直し

レンタル規定についての見直しはできず、2017年度に継続して考えていきます。旅行者負担金は2016年7月より廃止し、誰もが持っていきやすい環境に改善しました。